

# 道德

ホタル

萩焼

錦帯橋

★ 身近な自然を大切に～ホタルの育つ町～

教材：ホタル生育地（下関市豊田町）

ねらい：身近な自然に親しみ、動植物に優しく接しようとする心をもつ。

〈学習指導要領：道徳3（2）自然愛・動植物愛護に対応〉

教材について

下関市豊田町は、古くからホタルの名勝地として知られていた。しかし、昭和初期には、飲食店などでホタルを放つというイベントが流行したこともあり、ホタルが乱獲されて、急激に減少していった。また、河川の改修工事や生活排水の流入といった影響もホタルの減少に拍車をかける結果となった。

このような状況を食い止めようと、町の人々の有志がホタルの保護活動を始めた。そして、昭和32年、「天然記念物木屋川・音信川ゲンジボタル発生地」として、国から天然記念物の指定を受けた。

その後、ホタルの調査研究をしたり、増殖施設を建設したりするとともに、小学校の児童が調査をしたり、ホタルの里ミュージアムを開館したりして、町ぐるみで取組を進めている。

県内の各地では、下関市豊田町のようにホタルの生育にかかわる活動を行ったり、環境整備に取り組んだりしている学校・地域が多数ある。それぞれの取組を生かした教材を作成することが、身近な自然や動植物を大切にしていける心を育むために有効である。



展開例

学習の流れ	授業づくりのポイント
<p>①生き物を飼ったり、花や野菜などを育てたりして思っていることを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あなたは、どんな声かけをしながら、生き物を飼ったり、花や野菜を育てたりしていますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ずっと元気でいてね。</li> <li>・大きく育ててね。</li> <li>・お世話をするのは大変だな。</li> </ul>	<p>◇児童が飼育や栽培をしている写真を提示し、実際に飼っているものや育てているものに声をかける状況を設定することにより、本時に対する興味や関心をもたせる。</p> <p>◇大変だと感じている児童に対しては、「大変だと思うときのこと」や「大変だけど世話をしている理由」について聞き、これまでの取組を肯定的にとらえるように働きかける。</p>
<p>②資料を読み、町ぐるみでホタルを大切に育てている人たちの願いについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ホタルの少なくなった川を見て、町の人たちはどんな気持ちだったのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホタルがたくさんいた昔がよかったな。</li> <li>・このままだとホタルはいなくなってしまうかもしれないな。</li> <li>・ホタルのいる川にするのは無理だろうか。</li> </ul>	<p>◇場面絵を用いて、ホタルが減少している様子と愛護に取り組む人たちの様子を示す。</p> <p>◇町の人たちの残念な気持ちを、児童の飼育や栽培の体験に基づいて話すことができるようにする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>町の人たちが、ホタルを大切に育てようがんばったのは、なぜでしょうか。</p> </div>	<p>◇写真や新聞記事などを用いて、町の人たちの苦労やがんばりを具体的に示すことにより、町の人たちの願いがどれだけ強かったかを考えることができるようにする。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・何とかして、ホテルのいる川にしたいから。</li> <li>・町の人や子どもたちにたくさんのホテルを見せたいから。</li> <li>・これからもずっとホテルを大切にしていこう。</li> </ul>	
<p>③自然を大切にしている町の人たちの様子をビデオで見る。</p>	<p>◇自然を大切にしている身近な人たちの働きを紹介する。 例：町の花壇づくりをしている人たち</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>私たちの町にも、みんなのために自然を大切にしている人たちはいないでしょうか。その人たちは、どんなことを思っているのでしょうか。</p> </div>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなと一緒に花づくりをしたいなあ。</li> <li>・花いっぱいにして、町の人みんなに喜んでもらいたいなあ。</li> <li>・この町を大好きになってもらいたいなあ。</li> </ul>	<p>◇児童の通学路周辺の花壇のお世話している人たちの姿やインタビューを撮影したビデオを準備し、児童の発表の後に紹介する。</p>
<p>④「生き物お世話カード」を見直して、生き物を大切にしようとしている自分の取組を振り返る。</p>	<p>◇自分にも同様の思いがあることを確認するために、これまで記してきたカードを見直し、生き物を大切に思っている気持ちが表れているところに印を付けるように指示する。</p>

### 資料作成上の留意点

- 「取組を始めるきっかけになった出来事」「地域の人々の苦労や願い」などを踏まえて、道徳の資料としてのストーリーを描く。
- 児童に考えさせたいことを明確にして、道徳的な変化が見られる資料を作成する。  
例：「地域の人たちが自然や動植物を大切にしたいと思っていること」  
「地域の人たちがみんなで力を合わせて自然や動植物を守る活動をしていること」
- できるだけ多くの先生方と資料検討をして、修正を加える。

### 教材研究

- 豊田ホテルの里ミュージアム（所在地：下関市豊田町大字中村50-3）
- 他の地域での取組例（ホテルの鑑賞）  
岩国市…府谷、周南市…夜市川、山口市…一の坂川・徳地串、防府市…佐波川、美祢市…青景川・厚東川、長門市…音信川・七重川 等
- ホテルの幼虫を放流している学校も多数あり、地域の取組と連携して自然を守る活動を続けている。

### 他の取組例

- 理科の学習との関連
  - ・小学校3年理科「昆虫の育ち方」「身近な自然の観察」で、飼育活動と関連付けて学習
  - ・小学校4年理科「季節と生物」で、年間の取組と関連付けて学習
  - ・小学校6年理科「生物と環境」で、生物と川の環境との関連について紹介
- 総合的な学習の時間との関連
  - ・地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動等で活用

★ 地域の伝統文化を守る～萩焼～

教材：萩焼

ねらい：郷土や我が国の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。

〈学習指導要領：道徳4（7）郷土愛に対応〉

教材について

萩焼は、16世紀の末、毛利輝元が朝鮮から連れて帰った陶工、李<sup>り</sup>勺<sup>やつこう</sup>光<sup>り</sup>・李<sup>り</sup>敬<sup>けい</sup>がその始まりと言われている。

「一楽二萩三唐津」という有名な言葉があるように、萩焼は我が国屈指の焼き物である。色などで飾り立てることもなく、火で焼かれた土の色合いという素朴さが特徴である。茶器・酒器・花瓶等が作られているが、特に茶器が優れ、使えば使うほど細かいひび割れに茶がしみ込み、次第に色が変化していく。これが萩焼の魅力の一つにもなっている。

1970年には、萩焼が国の重要無形文化財に指定され、その技術保持者（人間国宝）として三輪休雪（10代休雪）が認定された。また、1983年には、萩焼の伝統を受け継ぎながらも、優れた造形力と個性的な感覚で萩焼に新風をもたらしたことにより、11代三輪休雪が人間国宝に認定された。



県内の各地では、伝統工芸品を制作したり、伝統文化にかかわる活動を継承したりしている地域が多数あり、地域の特色ある活動に取り組んでいる学校もある。これらの取組をもとに教材を作成することが、郷土や我が国の伝統と文化を大切にする心を育むために有効である。

展開例

学習の流れ	授業づくりのポイント
<p>①山口県の伝統工芸品を発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     伝統工芸品のよさとは何だろうか。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一つひとつの物が手作りだということ。</li> <li>・昔からの技術が伝えられていること。</li> <li>・地域の誇りのようなもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇実物や写真を提示し、現在使っているものとの違いを明らかにすることにより、本時に対する興味や関心をもたせる。</li> <li>◇社会科等で学習したことにも触れることにより、児童の発言の根拠を明らかにする。</li> </ul>
<p>②資料を読み、萩焼を守り発展させている人たちの願いについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     萩焼を守り続けていくために大変なことは、どんなことだろうか。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長い期間の修業が必要だということ。</li> <li>・伝統に従った方法で取り組むこと。</li> <li>・技術だけでないものが必要だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇写真を用いて作品制作の行程等を補足説明することにより、萩焼を守り続けることの意味を考えることができるようにする。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     作者の人たちは、これからの萩焼をどのようにしたいと考えているのだろうか。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇作者の願いに着目させることにより、伝統を守るとともに、発展させていくことの大切さについても考えることができるようにする。</li> </ul>

- ・今まで引き継がれてきたよさをこれからも引き継いでいきたい。
- ・もっと多くの人たちに大切に使うように作っていききたい。
- ・これまでのよさを生かすとともに、さらに新しいよさを加えていきたい。

③伝統工芸品を使った感想を発表する。

萩焼の茶器に触れて、どんなことを感じましたか。

- ・とても使いやすい感じがする。
- ・自然な感じがすてきだと感じた。
- ・一つひとつ作者が大切に作ったものだという感じがした。

④「身近な伝統工芸品」について、考えたことをワークシートにまとめる。

◇ゲストティーチャーと事前に打ち合わせを実施し、萩焼の魅力と作者の思いや願いを紹介してもらう。

◇児童自身が、伝統や文化について、これまで感じていたことと比べてどのように考えを深めたかについて、ワークシートへの記述を基に確かめ、価値付ける。

### 資料作成上の留意点

- 「伝統工芸品の歴史や現状」「作者の人たちの苦労や願い」などを踏まえて、道徳の資料としてのストーリーを描く。
- 児童に考えさせたいことを明確にして、道徳的な変化が見られる資料を作成する。  
例：「作者の人たちが守り続けたいと思っている理由」  
「作者の人たちがこれから取り組んでみたいと考えていること」
- できるだけ多くの先生方と資料検討をして、修正を加える。

### 教材研究

- 萩焼  
萩市内には約100の窯元があるが、見学できる場所は限られている。
- 他の地域での伝統工芸品例  
柳井縞（柳井市）、須金和紙（周南市）、大内塗（山口市）、赤間硯（宇部市） 等
- 地域と連携を図り、伝統工芸品を制作したり、伝統文化を継承する活動を行ったりしている学校もある。

### 他の取組例

- 小学校3・4年社会科「特色ある地域の人々の生活」で、資料として活用
- 総合的な学習の時間で、地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動等で活用

★ 地域のよさを継承する～錦帯橋～

教材：錦帯橋

ねらい：地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。

〈学習指導要領：道徳4（8）郷土愛に対応〉

教材について

岩国市には、日本三名橋の一つと言われている錦帯橋がある。橋の長さが193.3m、幅5.0mの五つの反り橋で、アーチ型をしたこんなに長く美しい木の橋は大変珍しいものである。錦帯橋は、日本だけでなく、世界に自慢できる橋である。

1673年に作られた錦帯橋は、翌年、洪水により流失したが、再建の後は、昭和期まで276年間流失することなく、定期的に架け替え工事が行われ、その姿を保った。ところが、1950年、台風により流失してしまい、1951年から復旧工事が始まり、1953年に再建が完了した。

そして、約50年ぶりに、2001年から3年の月日と約26億円をかけて、架け替え工事が行われた。これまでの架け替え工事で使われた絵図面をもとに、当時の技術を再現するために、設計や測量は尺貫法で行い、釘もステンレス製などは使わず、手打ちした「たたら鉄」の和釘が使われた。



県内の各地には、郷土の発展に尽くした多くの人たちがおられ、各教科等で身近な地域の人たちの取組や努力についての学習に取り組んでいる学校もある。地域にある素材を生かして教材を作成することが、郷土を大切にすることを育むために有効である。

展開例

学習の流れ	授業づくりのポイント
<p>①地域に古くから残っているものを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〇〇地域の自慢は何だろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古くからの町並みが残っている。</li> <li>・〇〇通りに大樹がある。</li> <li>・明治時代の建物が今も使われている。</li> </ul>	<p>◇他教科等の学習で調べたことなどを提示し、本時に対する興味や関心をもたせる。</p>
<p>②資料を読み、錦帯橋を守る地域の人たちの願いについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>錦帯橋が流失したとき、地域の人たちはどんな思いだっただろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川を渡ることができず、生活をする上で大変困った。</li> <li>・今まで大切にしていたものが失われて残念に思った。</li> <li>・錦帯橋の存在の大きさに気付いて、再建したいと思った。</li> </ul>	<p>◇生徒の発言に答える形でゲストティーチャーにエピソード等を紹介してもらう。</p> <p>◇「どうして、地域の人たちは錦帯橋の流失を残念に思ったのか」と問い返すことにより、郷土を大切にしたいという願いについて考えさせる。</p>

架け替え工事に携わった人たちは、どんな願いをもっていたのだろうか。

- ・いつも以上に、心を込めて仕事をしたい。
- ・これまでのやり方を引き継いで、錦帯橋を再現したい。
- ・地域の人たちが誇りにもてる錦帯橋に仕上げたい。

③自分の地域でずっと大切にされているものを思い出し、話し合う。

ゲストティーチャーから「〇〇地域ガイドブック」の説明

- ・今まで知らなかったことがあるな。
- ・地域の人たちが大切にしてきたんだな。
- ・これからもずっと守り続けていかなければならないな。

④「ふるさと〇〇のよさ」をまとめる。

◇架け替え工事に携わった人にインタビューをしておき、生徒の発言の後に確かめることができるようにする。

◇写真や年表を用いて説明することにより、地域の人たちの生活とつながりが深いことに気付くことができるようにする。

◇生徒一人ひとりがふるさとのよさをどのようにとらえているか、どのように見つめ直そうとしているかについて、ワークシートへの記述を基に確かめ、価値付ける。

## 資料作成上の留意点

- 「郷土の人たちの苦労や願い」「郷土の発展に尽くした人の努力」などを踏まえて、道徳の資料としてのストーリーを描く。
- 生徒に考えさせたいことを明確にして、道徳的な変化が見られる資料を作成する。  
例：「地域の人たちが郷土を大切にしたいと思っていること」  
「地域の人たちが郷土のために尽くしていること」
- できるだけ多くの先生方と資料検討をして、修正を加える。

## 教材研究

- 錦帯橋  
所在地：岩国市横山2丁目～岩国市岩国1丁目
- 他の地域での事例  
藤井彦右衛門（大島みかん栽培、周防大島町）、岩崎想左衛門（潮音洞、周南市）、渡邊祐策（石炭産業、宇部市）、国近久助（水路づくり、長門市）等
- 地域と連携し、郷土の発展に尽くした人たちについて、社会科や総合的な学習の時間等で学習している学校もある。

## 他の取組例

- 小学校3・4年社会科「私たちの住んでいる市や町」「地域の発展に尽くした人」で、資料として活用
- 総合的な学習の時間で、地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動等で活用

# 外国語活動

# 外国語科

錦帯橋（山口県の名所）

山尾庸三（山口県の人物）



★ *I want to go to Iwakuni. ~山口県を巡ってみよう 錦帯橋 他~*

教材：錦帯橋

ねらい：「私は、~へ行きたい。~が見たいからです。~が好きだからです。」という英語の表現に、山口県内の名所・旧跡等を当てはめて表現することを通して慣れ親しむ。

〈学習指導要領：第6学年の活動 内容1(2)に対応〉

**教材について**

錦帯橋は、岩国市の錦川に架橋された木造のアーチ橋で、日本三名橋や日本三大奇橋に数えられている。他に例を見ない特異な姿の五連の反り橋が特徴で、国の名勝に指定されている。藩政史料には大橋と表記されることが多く、「錦帯」という美名は完成後に定着したとする説が有力視されている。

中国の杭州にある西湖の「錦帯橋」をモデルにして1673年に架橋され、西湖の錦帯橋とは2004年に姉妹橋となっている。

橋の長さは、橋面に沿って210m、直線で193.3m、また幅5.0m、橋台の高さは6.64mである。



**展開例**

**学習の流れ(1時間)**

- ① 錦帯橋の写真を見て、“What’s this ?” という問いに対する答えを考える。
- ② 錦帯橋についての英語での紹介文 “I want to go to Iwakuni. I like Kintai Bridge. I want to see it.” を聞く。
- ③ 錦帯橋以外の山口県の名所・旧跡について同様の紹介を聞き、英語の表現に慣れ親しむ。
- ④ 山口県には錦帯橋をはじめ、たくさん名所・旧跡があることに気付く。
- ⑤ チャンツや簡単なクイズを行って、“I like ~. I want to go to ~. I want to see it.” の表現に慣れ親しむ。
- ⑥ 山口県内で、行ってみたいところの絵を描いて、英語で紹介する。

**授業づくりのポイント**

- ◇ 錦帯橋の写真を提示する場合、一部を示したり、スライドを使って、少し考えないと分からないようにして提示して、子どもたちの興味関心を引くように工夫する。また、It is long. It is made of wood. It has five arches. と英文の紹介を添える。
- ◇ 子どもたちが錦帯橋に気付いた時点で、次の英文 “I want to go to Iwakuni. I like Kintai Bridge. I want to see it.” を提示して、英文と意味を結びつけるようにする。
- ◇ 錦帯橋以外にも山口県内の名所・旧跡をいくつか提示すると同時に、英文を提示して表現に慣れ親しませる。
- ◇ いくつか県内の名所・旧跡を紹介した後、その価値や特徴について理解を深めていく。
- ◇ 英語ノートに載っているチャンツやクイズをさせる。
- ◇ 個人で行ってみたい山口県内の名所・旧跡等について調べて、英語で発表する。

## 教材研究

- want～は「～がほしい」、to～は「～すること」の意味。
- want to ～「～することが欲しい＝したい」と解釈する。
- I want to go to/see～. 「僕は（私は）～へ行きたい。／～が見たい。」とひとまとまりとして理解する。
- Where do you want to go? 「どこへ行きたいですか。」
- What do you want to see? 「何が見たいですか。」

### ○錦帯橋の構造

反り橋の構造は、頑丈な組木の技法により、橋上からの圧力で更に強度が増す仕組みとなっている。径間35mを無脚で渡した技術は、現代の橋梁工学からみても、非のうちどころがないと言われている。300年以上も前にこのようなすばらしい技術力があつたことは、驚きである。

錦川の河原から錦帯橋の裏面を見上げると、精緻な組木を巻金と銚（かすがい）で補強した、ダイナミックな構造美を見ることができる。水流に対して流線型をした橋台は、水の圧力を軽減する効果があり、橋台周囲に敷きつめられた敷石が橋台の根元を補強している。

## 他に紹介できる名所等



秋吉台  
Akiyoshi Plateau



須佐ホルンフェルス  
Susa Hornfels



瑠璃光寺五重塔  
Rurikoji, Five-Storeyed Pagoda



海響館  
Kaikyokan Aquarium



青海島  
Omi Island



徳山動物園  
Tokuyama Zoo

## 他の取組例

- 山口県の特産物等について、“What’s this? It’s a ～.”と紹介することで、山口県の特産物について理解するとともに、英語の表現に慣れ親しむことができる。
- 発展的な内容として、山口県の歴史的人物や著名人について、写真等で紹介して、人物についての理解を深めるとともに“Who’s this? It’s ～.”と英語で紹介しながら、人の尋ね方や答え方について慣れ親しむ。
- 総合的な学習の時間に、山口県の名所・旧跡や歴史的人物・著名人について調べ学習を行い、外国語活動の時間に英語を使って、発表することも考えられる。

★ 山口県の人物を英語で紹介しよう～山尾庸三 他～

教材：山尾庸三（例）

ねらい：山口県ゆかりの先人の業績を知り、それについてまとまった量の英文を意欲をもって書くことができるとともに、山尾庸三を例に学ぶことを通して、進取の気質の大切さに気付き、社会貢献への意欲をもつことができる。

〈学習指導要領：2内容（1）言語活動 ア聞くこと（オ）・エ書くこと（ウ）に対応〉

教材について

山口市秋穂二島で育った山尾庸三は大変勉強熱心で、10キロ離れた寺子屋に歩いて通う時にも本を読んでいた。10歳で代官所で仕事をするようになったが、熱心な仕事ぶりや勉強好きな様が長州藩の家来に認められ、萩と呼ばれた。そこでも熱心に勉強し、徳山、江戸でも学び続けた。当時は、ペリーが開国を迫り、日米和親条約が締結され、日本の若者の間に日本が征服されるという危機意識が高まっていた。



そうした中、庸三は幕府の船に乗り込み、ロシアに渡り、「工場」を見て、欧米の強さの理由に気付いた。そして、長州藩のイギリスへの留学生に選ばれ、命がけて密留学をした。イギリスに渡った庸三は、ロンドンやグラスゴーで働きながら夜間学校へも通い、工業技術や造船技術を学ぶとともに、聴覚障害者の手話について興味をもち、当時のイギリスの聾学校や盲学校を見学し、日本での学校設立に思いをはせた。帰国後は、日本に工業を興すことに使命を感じ、国の担当省の設立や人事育成のための学校設立に尽力した。また、聴覚障害者の福祉にも尽力した。こうした庸三の日本発展のための取組を学ぶことを通して、進取の気質の大切さ及び、社会貢献の重要性を認識し、社会へ積極的に働きかける意欲が育成されることも期待できる。

山尾庸三の紹介文(参考)

Yamao Yozo was born and brought up in Futajima in Yamaguchi City. He was very fond of studying. He was reading books even when he went to Terakoya, a private school.

He was chosen to study in England by Choshu Han. He took night classes while working. He studied industry and shipbuilding technology very hard. He was also interested in sign language. He observed at a school for the deaf and the blind.

After coming back to Japan, he tried very hard to not only build up industry but also to contribute to the welfare of people with hearing impairments.

Now he is called a father of industry of Japan.

展開例

活動の流れ	指導のポイント
<p>①山尾庸三についての写真等の関係資料とともに、英語での功績等についての紹介を聞き、その内容を把握する。</p>	<p>◇山尾庸三に関する写真等を示して、その人となりについて、英語で紹介する。 予め、聞き取りシートを用意しておきそれに答えるようにする。細かい内容について尋ねるのではなく、内容の概要が把握できるようにする。</p>
<p>②聞き取りシートに従って、聞き取った内容を確認する。</p>	<p>◇True or Falseで内容の概略をチェックする。次に、全体で答え合わせをしながら、内容を少し詳しく見ていく。さらに、Question &amp;</p>

	Answersを行う。
③紹介された英文について、音読したり、重要文についての理解を深めたりする。	◇英文の中の既習文法事項について、確認する。
④山口県の偉大な先人について、再確認するとともに、その他に思い浮かぶ山口県の先人をあげる。	◇歴史上の著名人ばかりでなく現在の著名人について、子どもたちが思い浮かぶ限り名前を挙げさせる。あまり名前が挙がらないようであれば、教師が、「夢チャレンジ きらり山口人物伝」から紹介する。
⑤興味を抱いた山口県ゆかりの先人や著名人について、なぜ選んだのか理由を添えて英文で紹介する。	◇自分が興味を抱く山口県の先人について、クラスのみんなに紹介する英文を書いて紹介する。

### 教材研究

<ul style="list-style-type: none"> <li>・寺子屋 “Terakoya, private school”</li> <li>・手話 “sign language”</li> <li>・視覚障害者・聴覚障害者 “the deaf and the blind”</li> <li>・～で生まれ育った “be boarn and brought up in～”</li> <li>・～に貢献する “contribute to ～”</li> <li>・～の父 “be a father of ～”</li> </ul> <p>○「夢チャレンジ きらり 山口人物伝 Vol. 1～4」(財)山口県ひとつづくり財団</p> <p>○「山尾庸三傳」明治の工業立国の父 兼清正徳</p>
--

### こんな人たちを紹介してみよう

人名	分野等	人名	分野等
伊藤博文	初代内閣総理大臣	田中絹代	女優、映画監督
香月泰男	画家「シベリアシリーズ」	種田山頭火	放浪の俳人、自由律俳句
金子みすゞ	童謡詩人「私と小鳥とすずと」	重源上人	東大寺再建のために木材調達
狩野芳崖	画家「悲母観音」	津田恒美	広島カープ投手、炎のストッパー
木戸孝允	五か条の御誓文	中原中也	詩人「山羊の歌」
新村 出	広辞苑の編集	星野哲郎	作詞家、演歌のヒットメーカー
高杉晋作	幕末の志士、奇兵隊	松田優作	俳優
田上菊舎	女流俳人	まどみちお	童謡詩人「ぞうさん」
瀧川辯三	日本のマッチ王	宮本常一	民俗学者、「歩く巨人」
田島直人	ベルリン五輪三段跳び金メダル	吉田松陰	幕末の志士、松下村塾

### 他の取組例

<p>○総合的な学習の時間等で、山口県の先人や、自分が興味を抱く人物について、その生涯等を調べる。調べたことについて、英文でまとめる。</p> <p>○“Who’s this ?” “It’s ～.” を扱う場面で、身近な人、世界の有名人を紹介すると同時に、山口県の先人について紹介する。</p> <p>○関係代名詞を指導する教材で、山口県の先人を題材に紹介する文を示して、文法事項の指導と同時に山口県ゆかりの先人について学ぶ。</p> <p>○“What’s this ?” “It’s a ～.” を指導する教材で、山口県独自のものを紹介して、表現の提示、定着、及び山口県の特産品について理解する。</p>
---

# 総合的な学習の時間

宮本常一

萩城下町



★ 調べる楽しさ実感！ 宮本常一の「あるく、みる、きく」

教材：昭和40年代、50年代を調査しよう

ねらい：宮本常一の調査方法を知り、昭和40・50年代についての調査活動を通して、自分で確かめたり聞き取り調査をしたりする楽しさを味わう。

〈学習指導要領：各学校の定めた目標による〉

教材について

宮本常一は、周防大島町に生まれた日本を代表する民俗学者である。常一は、「あるく、みる、きく」ことを生涯貫いた。そして日本国中を自分の足で歩き続け、土地の人々から話を聞き、記録をとり続けた。その功績からは、実際に人から話を聞いて知ったり、見たりして情報を得ること、自分で確かめることの大切さを学ぶことができる。



本教材では、宮本常一のように実際に自分で確かめていく活動の楽しさを味わうことができる。

児童が昭和40年代、50年代のちょっと昔の日常生活の事象や物事の始まり、身の回りの製品の変化を調べたり、当時の様子について聞き取りを行ったりしながら、父母や祖父母が過ごしていた時代を知ったり、現代との違いを考えたりする学習が考えられる。

昭和40年からの日本には、高度経済成長や平成のバブル崩壊など経済的な大きな変化や、テレビゲームやパソコン、携帯電話の普及など科学技術の飛躍的進歩による日常生活の変化、それらに伴う生活様式の変化など、調査する内容が豊富にある。また、この時代は、保護者をはじめ祖父母や教員、地域の方などにも気軽に聞き取り調査ができ、当時を懐かしく語ってくれることも期待できる。


さらにこの教材を宮本常一の手法を生かして児童が学習していくことで期待できる教育的価値としては、

- ・ 生活用品や芸能、学校生活など私たちを取り巻く様々な事象から課題を設定することができる。
- ・ 身近な人への聞き取り調査が容易なことで、人との接し方やインタビューの仕方を学ぶ機会が増える。
- ・ 資料が豊富で手に入りやすく、聞き取りも容易であることから、探究的な学習活動が連続して展開され、課題解決の喜びや楽しさを十分に味わうことができる。

などがあげられる。

この学習を通して、課題をもち、それらを自分の集めた情報で解決していく楽しさを味わうとともに、聞き取りの活動を通して、コミュニケーション能力を育むことができる。

展開例

学習の流れ（単元）	授業づくりのポイント
<p>＜単元導入＞ “ちょっと昔”の歴史クイズ</p> <p>①クイズに挑戦する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カップ麺誕生はいつ？</li> <li>・ 携帯電話誕生はいつ？</li> <li>・ 昭和40年以降誕生したもののクイズ</li> </ul> <p>②昭和40年代50年代の概要を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当時流行した、歌謡曲やテレビドラマなどを知る。</li> <li>・ 学校の備品で40年代、50年代のものを知る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今のものと形が違うね。</li> <li>・ 他にどんな物が誕生したのかな。</li> <li>・ どんな芸能人がいたのかな。</li> </ul> </div>	<p>◇日用品、食べ物等、身近な物のクイズが興味をもちやすい。また基準の年を決め（担任の生まれた年など）それより前か後かというようなクイズにしても楽しい。</p> <p>◇クイズだけでなく、実際の物を見せたり、曲を聴かせたりしながら、興味関心が高まるように、児童の実態に即した教材との出会わせ方を工夫したい。</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p>時間をとることができれば、校内を探検し昭和40年代50年代のものを探す活動を取り入れることも楽しい。</p>

### <展開Ⅰ>課題設定

- ①知りたいことや調べたいことを出し合い、調査内容を決定する。
- ②調査方法やまとめ方を決め、学習の見通しをもつ

- ・この頃の子どもたちは、どんな給食を食べていたのかな。  
(学校の生活について)
- ・この頃の子どもたちは、どんな遊びをしていたのかな。  
(当時の遊びについて)
- ・電気製品について調べてみたいな。  
(当時の生活との比較)

### <展開Ⅱ>情報の収集

#### 調査の仕方・マナーを知ろう

- ①宮本常一について知る。
- ②聞き取りの仕方やマナーを考える。
- ③聞き取り調査や調べ学習に取り組む。

#### 調査しよう

- ①課題にそって、調べる。
- ②情報を集める。「あるく、みる、きく」

### <展開Ⅲ>整理・分析

- ①カードや図等で、情報を分類・整理したり、分析する。

### <展開Ⅳ>まとめ・表現

- ①レポートにまとめたり、ポスターセッションの手法で発表する。
  - ・課題の更新
  - ・自己評価、相互評価

- ◇製品を調べ、そのときの様子を聞いてみたり、当時の給食の献立は？はやった遊びは？など様々なジャンルがあると楽しい。
- ◇調査したことを誰にどのように知らせるのかははっきりさせておくことも大切。

- ・課題を明確にするとともに、まとめ方もきめることで、見通しをもって調べ学習ができる。
- ・グループ学習を仕組むことで、学習の深まりや広がりをもたせることができる。

- ◇常一の生い立ちや調査の手法等について知らせ興味をもたせる。
- ◇宮本常一の紹介を通して、自分で確かめた情報が大切であることを伝える。
- ◇気持ちよく聞き取り調査をするためにどうしたらよいか考えさせる。
- ◇計画を立て見通しをもって取り組ませる。
- ◇調べる過程での人との関わりなどの感想を記録させる。

- ◇言葉や数値、写真や地図等、収集した情報をもとに、課題に対する考えを深めさせる。

- ◇他者に伝えたり、考えをまとめたりすることで、課題が鮮明になったり、更新されたりする。
- ◇自己の活動を振り返り、次の活動の意欲化を図る。

## ここで教材研究

### ○「周防大島文化交流センター」

- ・宮本常一関連の資料展示室や体験学習室が主体の施設
  - ・宮本常一の著作や蔵書約2万点を収めた収蔵庫、民具、写真、パネル、宮本の著作や写真約10万点などの資料を閲覧する資料閲覧室が用意されている。
- 〒742-2512 大島郡周防大島町平野417-11  
5 0820-78-2514

- 宮本常一は、戦後、特に昭和30年代以降の日本を撮った約10万枚の写真を残している。目に留まり気になるものは何でも写しており、駅のホームから見える薪など数々の日常風景が、今では単なる記録写真を越えた貴重な資料となっている。

このような写真を基に、今の様子との違いを探したり、なぜ変わったのかを考える学習に取り組むことも考えられる。また、学校に残っている古い写真や家庭にある写真を基に調査活動をすることもできる。

※宮本常一の写真は文化交流センターのホームページで閲覧することができる。

- 宮本常一の生涯も、私たちに様々な示唆を与えてくれる。常一を育んだ父母、祖父母の家族愛や民俗学者としての生き方からは、家族の一員としての自分の在り方や、夢や目標に向かって生きる大切さやすばらしさを考えることができる。



## 他の取組例

- 宮本常一の生涯を、道徳の教材として学習
- 社会科の歴史の学習の発展

## ★ 城下町の歴史を探ろう！～萩城下町～

教材：萩城下町（萩市）

ねらい：萩城下町の歴史を探ることを通して、山口県が輩出した「幕末の志士」について調べ、日本の将来を展望する。

〈学習指導要領：各学校の定めた目標による〉

### 教材について

「萩城下町」は、江戸時代の古地図が、今でも使える「まち」として、山口県が誇る城下町である。また、江戸時代末期には、吉田松陰、高杉晋作、伊藤博文をはじめ数多くの「幕末の志士」たちを輩出した地として、広く知られている。

このような「萩城下町」について知ること、吉田松陰ら先人の思いにも触れることができ、ふるさとに誇りをもつとともに、大きな夢を抱く生徒を育てることにつながる。

新学習指導要領の総合的な学習の時間においては、横断的・総合的な学習や探究的な学習を行うことが大前提であり、これらを通して、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成することをめざしている。

「萩城下町」は総合的に探究する教材としてふさわしいものであり、生徒が、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組みやすい場でもあり、これらのことから、本教材は、まさに、「総合的な学習の時間」の目標に沿った学習を展開するのにふさわしい教材であると言える。



### 展開例

#### 学習の流れ（単元）

##### 課題1 <調べ学習を中心に>

I 「萩」と聞いて、思いつく事項を挙げ、「萩城下町」の講話を聞く。

城下町、古い町並み（土堀）、夏みかん、毛利氏、吉田松陰、高杉晋作、伊藤博文、長州ファイブ等

講話等を参考にして、自分に興味・関心がある事項について課題を設定する。

II 副読本「地域調査 やまぐち」、インターネット等を活用して、調べ学習を行う。

\*参考資料：萩市教育委員会編

『中学校郷土読本 郷土 萩』

III 調べた内容を、視点を定め、ベン図等を活用し、整理・分析する。

IV ポスターやパワーポイント等を活用し、簡潔に分かりやすくまとめ、一人ひとりが自分の思考を深める。

発表会などを通して、意見交換を行うことで、課題を更新する。

#### 授業づくりのポイント

##### 課題1 <調べ学習を中心に>

###### I 課題設定

◇小学校時も含め、これまでの社会科学習等で得ている知識も活用させる。

◇具体的な調べ学習が進められるように、何について調べるのかという視点を明確にさせ、課題を設定する段階で効果的な助言を行う。

###### II 情報収集

◇調べ学習を進めるに当たって、教員や家族、地域の方々への「聞き取り調査」も有効な手段の一つである。

###### III 整理・分析

◇教科で身につけた知識や技能を生かし、言語化、グラフ化等で整理したり、分析したりする

###### IV まとめ・表現

◇ポスターやパワーポイントに記載する内容はポイントのみとし、別に発表原稿となるスクリプトを作成させる。



### 課題2 <自由討論会を中心に>

テーマ：『幕末の志士の中で、日本の将来に最も影響を与えた人物は誰？』

I 時代の転換期の中で、山口県出身の人物が大きな働きをしたことを、課題1で学習した資料等を活用して確認し、ディベートを行い、課題を明確にする。

II 自分が一番興味・関心をもった人物を決め、仲間と共に、調べ学習に取り組む。  
・講師による講話「幕末の志士」  
・資料館等訪問

III 収集した情報を、グループ内で話し合い、表やグラフ、写真等を整理する。

IV 討論会を通して意見交換を行うことで、他のグループの意見や考えを大切にし、生徒一人ひとりが自分の思考を深める。

### 課題2 <自由討論会を中心に>

#### I 課題設定

◇複数のグループで輪をつくり、自由討論会の場とする。

#### II 情報収集

◇人物ごとにグループをつくり、役割分担をもとに活動に計画的に取り組ませる。

#### III 整理・分析

◇その人物の功績を中心に、情報を整理し、話し合わせ、意見の根拠を明確にさせる。

#### IV まとめ・表現

◇討論会では、各グループの意見や考えの調整役として、教師がチェアマンを行う。

◇振り返りの段階で、幕末のこの頃と現在とを対比させることで、日本の現状と課題について考え、日本の将来を展望させる。

## 教材研究

### ○『中学校郷土読本 郷土 萩』についての問い合わせ

「萩市教育委員会」

〒758-8555 萩市大字江向510

TEL 0838-25-3141 FAX 0838-26-3561

### ○『萩城下町』についての問い合わせ

「萩市役所 観光課」

〒758-8555 萩市大字江向510

TEL 0838-25-3139 FAX 0838-26-0716

### ○『幕末の志士』に関する資料請求等

「松陰記念館」

〒758-0061 萩市大字椿1258

TEL (FAX兼) 0838-22-9889

○山口県が全国に誇れる史跡や人物等について確認し、調べ学習において生徒が設定すると考えられる課題を予想しておく。



## 各地の古い町並みの例

### ○「萩城下町」以外で、古い町並みについての調査活動（社会科 地理的分野）

・柳井市～古くから水陸交通の要衝で江戸時代には商都として栄えた歴史をもち、今も白壁の町並みが残る。

「柳井市役所」

〒742-0031 柳井市南町1-10-2

5 0820-22-2111

・下関市長府～長府毛利氏の城下町で、今も土塀の町並みが残る。

「下関市役所 観光振興課」

〒750-0006 下関市南部町1-1

5 083-231-1350 FAX 083-231-1853

# 特別活動

大内塗

平家踊り

クサフグ産卵地

★ 郷土の伝統工芸にふれてみよう～大内塗～

教材：大内塗

ねらい：地域の伝統工芸の見学や体験などを通して、山口県の伝統文化に親しむとともに、社会科等の学習に生かすことができる。

〈学習指導要領：学校行事 内容（４）遠足・集団宿泊的行事 に対応〉

教材について

「遠足・集団宿泊的行事」は、校外の自然や文化にふれる体験を通して、学校における学習活動を充実・発展させることをねらいの一つとしている。

子どもたちは、地域の伝統工芸等の見学や体験等によって、そのよさにふれるとともに、その歴史や高度な技術を要することや、継承のための努力などについて知ることができ、それらを通して郷土に伝わる文化に誇りをもち、愛着を深めることができる。また、一方で、後継者の育成など伝統工芸の抱える問題についても知ること、郷土の将来を考えることにもつながる。さらに、それらを社会科での「地域の人々が受け継いだ文化財や年中行事」「県内の特色ある地域の人々の生活」の学習や歴史学習などに生かすことで、学習をより一層充実させることにつながることもできる。



「大内塗」は、大内時代に作られた漆製品で、「赤間硯」「萩焼」とともに山口県を代表する伝統工芸品の一つである。よく知られている「大内人形」は、漆に純金箔をあしらった夫婦円満の人形として広く愛好されており、その他にも大内盆、菓子鉢、重箱、吸物椀等がある。この「大内塗」は、現在も何人かの伝統技術保持者によって山口市で製作が続けられており、「山口ふるさと伝承総合センター」では、箸作りなどを体験することもできる。

展開例

学習の流れ（事前事後の学習を含む）	授業づくりのポイント
<p>《事前学習》</p> <p>①大内塗について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大内塗について知っていることを発表する。</li> <li>・インターネット等を活用して調べる。</li> <li>・見学の際に調べてみたいことを話し合う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな作品があるのかな、実物が見たいな。</li> <li>・伝統を守るのにどんな苦労があるのかな。</li> <li>・私も作ってみたいな。</li> </ul> </div> <p>②体験学習のねらいや注意事項を確認する。</p> <p>《見学》</p> <p>①「山口ふるさと伝承センター」で体験学習を行う。（約90分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大内塗についての講話とビデオ視聴</li> <li>・大内塗の箸作り体験</li> </ul> <p>②事前に調べたことを発表したり、講師に質問したりする。</p> <p>③講話や体験の感想を発表する。</p>	<p>◇社会見学の事前指導の一環として、大内塗について調べさせる。見学の際に見たり聞いたりしてみたいことを挙げさせるなどして、見学や体験での目的意識をもたせる。</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>社会科の県の産業の学習と組み合わせて実施することで、効果的に学習が進められる。社会科の単元の中の見学部分を学校行事で扱うことも考えられる。</p> </div> <p>◇講師と事前に連絡を取り、講話に含めてほしい内容や体験学習のねらい等を伝えておく。</p> <p>◇数々の作品の鑑賞等を通して伝統工芸の魅力を実感させるとともに、継承の努力や苦労等も聞かせてもらう。</p> <p>◇箸作り体験を通して、大内塗の魅力や独自の作品作りの喜びを味わわせるとともに、制作の苦労を実感させる。</p> <p>◇事前に調べたこと等をもとに、質疑や感想の</p>

- ・作った箸で給食を食べたいな。
- ・一つずつ手作りするのは大変だね。
- ・いつまでも大内塗が続いてほしいな。

#### 《事後学習》

- ③体験したことを新聞等にまとめ発表し合う。
- ・社会見学新聞を作る。
  - ・お礼の手紙を書く。

発表の時間をとる。

見学や体験を効果的なものにするためには、事前に講師と内容や時間配分、進め方などを十分打ち合わせておくことが大切となる。

- ◇言語活動の充実の観点から、分かったことや感想、考えたことを新聞等にまとめさせ、発表させる。
- ◇大内塗を今後も守っていくためにどうすればよいかを考えさせ、伝統工芸の存続や継承について意識させたい。
- ◇体験で作った箸で給食を食べるなどの活動も考えられる。

### 教材研究

- 「山口ふるさと伝承総合センター」  
〒753-0034 山口市下堅小路12  
5 083-928-3333
- ・「大内塗の箸作り体験」  
体験に要する時間は30分程度、講話と併せて90分程度で実施可能
- ・一度に60名位まで可能
- ・学校等へ出向いての体験学習も実施可能



- 大内氏は、漆を重要な輸出品の一つとし、山口では漆工芸が盛んに行われていた。大内朱と呼ばれる深みのある朱色に色漆で描かれた秋草模様と金箔であしらった大内菱が特徴の今日の大内塗は平成元年、大内人形とともに国の「伝統的工芸品」に指定された。毛利博物館（防府市）所蔵の「漆絵枝菊椀」は県指定有形文化財で重要美術品としても認定されている。現在山口市内では8店が大内塗を製作している。

- 山口の地に居を構えた24代大内弘世が京から迎えた花嫁は、華やかな都を恋しがって泣いてばかりいた。そこで弘世は、京から多くの人形職人を呼び寄せ、屋敷中を人形で飾った。花嫁はたいそう喜び、それから二人は幸せに暮らした。町の人は弘世の屋敷を「人形御殿」と呼ぶようになった。この物語が男女一対の「大内人形」のもとになっており、夫婦円満の象徴として広く愛されている。

### 各地の伝統工芸品の例

- 体験学習が可能な伝統工芸の例と連絡先

赤間硯：宇部市楠総合支所経済課 5 0836-67-2815

萩焼：萩市観光課 5 0838-25-3139

須金和紙：周南市須金公民館 5 0834-86-2201

金魚ちょうちん・柳井縞：やない西蔵 5 0820-23-2490

王司風ぐるま：王司風ぐるま同好会 代表 大田 平さん 5 083-248-1798

- 県内には他にも、山城和紙（周南市鹿野）、佐野焼（防府市）、ふく風やふく提灯（下関市）、おにようず（萩市見島）、須佐焼（萩市）など多くの伝統工芸品がある。



★ 郷土に伝わる伝統芸能に親しもう～平家踊り～

教材：平家踊り・平家太鼓

ねらい：郷土の伝統芸能を鑑賞したり体験したりすることを通して、地域の一員としての自覚を高めるとともに、郷土への愛着や伝統芸能の継承への意欲をもつことができる。

〈学習指導要領：クラブ活動 に対応〉

教材について

平家踊りは、壇ノ浦の戦いで敗れた平家一門の供養の踊りに源を發したと言われている。手を胸より上で交互に繰るような動きを基本としていることから「糸繰り式」と言われ、三味線、太鼓、音頭に乗って11拍子で踊る。平家太鼓は、高低2種類の太鼓と空樽から成り、奇数拍子を基にした勇壮な打ち方は全国にも類がない。この平家踊りは、下関市内では、各地の夏祭りや盆踊り等でも踊られており、親しまれている。



県内の各地域には、それぞれ古くから伝わる伝統芸能（踊り、お囃子、太鼓、舞等）があり、それらの鑑賞や体験を通して、その伝統芸能が生まれたきっかけや、それに込められた郷土の人々の思いや願いなどを知ること、子どもたちは郷土について理解し、愛着をもつことができる。また、こうした地域の伝統芸能に関するクラブ活動等を計画し、地域の人を講師として練習を続けたり、その成果を発表したりすることを通して、子どもたちのふるさとへの愛着を深め、伝統芸能を受け継いでいこうとする意欲を高めることもできる。地域の伝統芸能は、学校だけでなく、地域の行事等での発表の機会も考えられることから、それらを通して、地域ぐるみで伝統や文化を継承していこうとする機運が高まることも期待できる。

展開例

学習の流れ（年間）	授業づくりのポイント
<p>①クラブの計画や運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人の平家踊りを鑑賞する。</li> <li>・自分のやってみたいことを出し合い、1年間の活動計画を話し合う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平家太鼓をたたいてみたいなあ。</li> <li>・踊りが難しそうだね。練習したいな。</li> <li>・練習したらどこかで発表してみたいね。</li> <li>・自分たちだけじゃできないよ、地域の人と一緒にできるといいね。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人を講師に、時々指導してもらいながら1年間活動することを確認する。</li> <li>・成果の発表の機会をもつことを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇継承活動を行っている保存団体や地域の人等の踊りを鑑賞させ、活動の意欲を高めさせる。</li> <li>◇鑑賞を基に、太鼓や音頭、三味線、踊りなどやってみたいことを出し合わせ、計画を立てさせる。</li> <li>◇地域の人を講師として継続的に指導を受けたり、保存団体等と交流したりするなど、外部講師とかかわりながら活動が進められるように計画する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>地域の伝統芸能の継承活動に取り組んでいる人を探して講師とすることで、技能的なことだけでなく、その伝統芸能が生まれた背景等についても学ぶことができ、より深い理解につなげることができる。</p> </div>

<p>②クラブを楽しむ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太鼓、踊り、三味線、音頭等、様々な役割に挑戦してみながら、自分のやってみたい役割を決め、役割分担をする。</li> <li>・決めた役割を中心に練習を進める。</li> <li>・地域の人とともに練習したり、保存団体等と合同で練習をしたりする。</li> <li>・平家踊りの由来等について調べ、平家踊りについて理解する。</li> </ul> <p>③クラブの成果の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習発表会 ・児童集会 ・クラブ発表会</li> <li>・運動会 ・地域の行事 など</li> </ul>	<p>◇学校行事等での発表の場を設定し、それを目標として活動が進められるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ子どもたちが様々な役割を体験できるようにしたり、役割を決める際も子どもたちの話し合いを大事にしたりするなど、自主的に活動が進められるように支援したい。</li> <li>・外部講師と連絡を密に取り、その時間のねらいや流れ、役割分担などを共通理解しておく。</li> </ul> </div> <p>◇単に練習するだけでなく、平家踊りの由来や込められた思い、平家踊りの現状などについて理解できるようにする。</p> <p>◇全校児童や地域の人々への成果の発表の場をもつことで、他の児童の郷土の芸能に対する理解を深めることができる。</p> <p>◇運動会等の学校行事で全校で平家踊りに取り組む場合には、クラブの児童が指導や演奏をすることも考えられる。</p>
---	---

## 教材研究

<p>○平家踊り保存会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下関平家踊り保存会事務局（下関市観光振興課内）5 083-231-1350</li> <li>・彦島連（彦島公民館）</li> <li>・西山連（西山自治会館）</li> <li>・八音会（西部公民館、川中支所）</li> </ul> <p>○平家踊りは発祥してから多数の音頭が口説かれてきた。代表的なものに、壇ノ浦の合戦を唄った「源平音頭」などがある。</p>
---

## 他の取組例

<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化的行事として、地域の伝統芸能を鑑賞したり体験したりする。</li> <li>・運動会や学習発表会、文化祭等で、全校演技や演目として実施する。</li> <li>・社会科3・4年の「地域の人々の生活」で調べたり、6年の歴史学習の際に関連することがらとしてふれたりする。</li> <li>・音楽で「和楽器」での表現、「我が国の音楽、郷土の音楽」の鑑賞の教材として扱う。</li> <li>・総合的な学習の時間にふるさとの伝統芸能について調べたり体験したりする。</li> </ul>
--

## 県内各地の伝統芸能等の例

<ul style="list-style-type: none"> <li>・なむでん踊り（周防大島町）</li> <li>・たぶせ山城太鼓（田布施町）</li> <li>・月性の剣舞（柳井市）</li> <li>・島田人形浄瑠璃（光市）</li> <li>・安田糸操り人形浄瑠璃（周南市）</li> <li>・野島盆口説き（防府市）</li> <li>・鷺流狂言（山口市）</li> <li>・別府岩戸神楽舞（美祢市）</li> <li>・俵山歌舞伎（長門市）</li> <li>・神楽舞（阿武町） 他</li> </ul>		
	島田人形浄瑠璃	鷺流狂言

## ★ クサフグ産卵地の清掃ボランティアに取り組もう

教材：クサフグ産卵地(光市鼓ヶ浦)

ねらい：地域の環境美化活動の計画や実践を通して、ボランティア活動の意義を理解し活動への意欲を高めることができる。

〈学習指導要領：学級活動(2) 適応と成長及び健康安全 カ ボランティア活動の意義の理解と参加  
生徒会活動 内容(5) ボランティア活動などの社会参加 に対応〉

### 教材について

光市の室積海岸には、毎年5月中旬から7月上旬にかけて、数万匹のクサフグが産卵にやってくる。観光客も多く訪れるが、近年その数は減少しつつあり、クサフグを増やそうと、産卵地の清掃ボランティア活動などが行われている。



このような、地域の特色ある自然を守るために、生徒が自分たちができることを考えて話し合い、実行することを通して、学校外の地域に目を向けさせることができ、地域の一員としての自覚をもって生活しようとする態度を育てることができる。また、地域の人たちとの活動を取り入れることや、啓発のためのポスター作りなど、多様な実践活動を考えることができ、これらの活動を通して、一人ひとりの自己有用感や自尊感情を高めていくこともできる。

山口県には、全国に誇ることのできる自然環境や景勝地、歴史的文化財等が数多くあり、それらを保護・整備する活動などが、地域の人々を中心に行われている。各地域での実情を知り、生徒会活動として活動に取り組むことで、生徒の関心を学校外の事象へも向け、地域社会へ積極的にかかわる自主的・実践的な態度を育てることができる。

### 展開例

活動の流れ（生徒会活動・学級活動）	指導のポイント
<p>《事前の活動…学級活動(2)、生徒会活動》</p> <p>①生徒総会に向けて、地域に役立つ活動について各学級で話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のクリーン作戦をしようよ。</li> <li>・クサフグが減っているよ。自分たちで何かできないかな。</li> </ul> </div> <p>②各学級からの提案をもとに生徒会執行部で「クサフグ産卵地の清掃」を提案する。</p> <p>③各学級で具体的な方法や問題点について話し合い、学級としての意見をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人が清掃活動をしているよ。一緒に活動できないかな。</li> <li>・ポスターや看板作りも加えるといいね。</li> </ul> </div> <p>④生徒総会で意見を出し合い、取組方法や役割分担を決定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組めそうなことがたくさん出たね。</li> <li>・環境委員会に計画をお願いしよう。</li> </ul> </div>	<p>◇ボランティア活動について知っていることを話し合わせ、その意義について理解させる。</p> <p>◇地域の現状や問題点を出させ、それらを解決していくために自分たちで貢献できそうなことを話し合わせる。</p> <p>◇クサフグ産卵数の推移、産卵地周辺の環境の状況等、クサフグの産卵にかかわる現状を把握できる資料を集めさせ、生徒に話し合いや活動への動機付けをする。</p> <p>◇生徒の発想による活動計画を生かし、自主的・自発的な活動となるようにする。</p> <p>◇学級活動や生徒総会后には、話し合った活動の意義や取組について各学級で価値付け、生徒の活動意欲を高めるようにする。</p> <p>◇校外での活動になるので、事前に下見や地域の人との連絡を行い、禁止事項の確認や安全等への配慮を十分にしておく。</p>



### 《ボランティア活動…生徒会活動》

- ①活動場所に集合し、環境委員の説明により活動の流れ等の確認をする。
  - ・活動の目的
  - ・一緒に活動する地域の人を紹介
  - ・活動場所や注意事項
- ②地域の人と協力して清掃活動を実施する。
- ③活動の感想を発表する。

### 《事後の活動…学級活動》

- ①各学級で自己評価や相互評価を行う。
- ②活動を終えての感想やこれからのに向けての思いを交流し合う。

- ・地域の役に立ててよかったな。
- ・清掃活動をしてくださる人たちのおかげで産卵地が守られているんだね。
- ・これからも時間が取れたら参加しよう。
- ・他にもできることがあるかもしれないね。

- ◇活動の目的を再確認し、意欲を高める。
- ◇地域でボランティア活動に取り組む人の思いや願い、活動の様子などを簡単に話してもらい、生徒の活動意欲を高める。
- ◇地域の人と積極的にかかわりながら活動できるようにする。

- ・可能であれば、役割や活動場所毎に地域の人とグループにするなど、交流しながら活動できるようにするとよい。

- ◇地域の人から感想を話してもらったり、活動の様子を肯定的に評価したりして、充実感を味わわせる。

- ◇話し合い等による活動の価値付けを通して、自己有用感や他の活動への意欲をもつことができるようにする。

- ・一緒に活動した地域の人を紹介したり、手紙を書かせたりすることなどを通して、次の活動や自主的な活動に意欲をもつようにしていくことが大切。

## 教材研究

- 光のクサフグ産卵地（山口県指定天然記念物）  
所在地：光市大字室積村普賢山  
（室積半島 鼓ヶ浦～杵崎にかけての海岸）  
産卵時期：例年5月下旬～7月上旬の大潮前の数日間

- 他の地域での取組例
  - ・柳井市の白壁や萩の町並みの美化
  - ・周南市のナベヅル飛来地の環境づくり
  - ・秋吉台の自然環境の美化
  - ・向津具半島等の棚田の景観保持



クリーン作戦への参加や海岸清掃の実施など、それぞれの地域でできることから始める。

## 他の取組例

- 小・中学校ともに、学級活動(2)での学級単位での取組
  - ・学校規模や年間計画の関係から生徒会活動での取組が難しい場合
  - ・校外活動の際の引率教員数を確保し安全に配慮することが必要
- 学校行事（勤労生産・奉仕的行事）としての取組
  - ・事前事後を学級活動や生徒会活動で、ボランティア活動を学校行事で取り組むことも考えられる。そうすることで学校全体だけでなく学年単位での実施も可能になる。
- 小学校5年理科「動物の誕生」での産卵の様子を紹介やメダカとの比較
- 中学校理科第2分野「動物の生活と生物の変遷」「生命の連続性」での動物の分類や受精、遺伝の学習等での紹介



# 參考資料

## (1) 山口県が作成している資料

### 山口県の文化財

山口県教育庁社会教育・文化財課

県内の文化財を検索できるシステムです。文化財の映像を見たり、民謡を聴いたりすることができます。「学習サポート」のコーナーには、文化財の概要についての小学生向けの説明も掲載されており、調べ学習にも活用できます。

URL <http://bunkazai.ysn21.jp/>

※携帯サイトも開設しています。URL [http://bunkazai.ysn21.jp/\\_mobile/](http://bunkazai.ysn21.jp/_mobile/)

### ふるさと学習コンテンツ「知っちょる!?やまぐち」

山口県教育委員会（平成14年3月～）

URL <http://www.ysn21.jp/furusato/>

### やまぐちQ & A・住み良さ日本一のきらめき

山口県総合政策部政策企画課（平成20年9月）

### 県外向け魅力発信サイト「見て！来て！知って！魅力発見！！やまぐち」

山口県総合政策部広報広聴課

URL <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/gyosei/koho/portal/>

### ZOOM UP 山口

山口県教育委員会（平成4年3月）

### いいぞ山口！わたしたちのふるさと

山口県教育委員会（平成6年3月）

### だいすき山口！わたしたちのふるさと

山口県教育委員会（平成7年3月）

### 山口県指定等文化財目録

山口県教育庁社会教育・文化財課（平成19年3月）

### 山口県文化財地図

山口県文化財愛護協会

### 山口県の民俗芸能（山口県民俗芸能緊急調査報告書）

山口県文化財愛護協会（平成12年8月）

### ふるさと元気です

山口県企画部地域振興課

※山口県庁1Fの「山口県刊行物センター」には、山口県が発行する刊行物を中心に、国や市町村が監修する各種の刊行物が展示してあり、様々な資料を探することができます。

URL <http://www.ymgbooks.jp/>

## (2) 各市町等が作成している資料

### 夢チャレンジ きらり山口人物伝1～4

山口県ひとづくり財団（平成19年8月～平成22年9月）

### やまぐち文学散歩

やまぐち文学回廊構想推進協議会（平成21年3月）

### 山口の文学者たち

やまぐち文学回廊構想推進協議会（平成18年3月）

### 松陰読本

山口県教育会

### 山口の理科ものがたり

山口県小学校教育研究会理科部会

### 山口の地理ものがたり

山口県小学校教育研究会社会科部会

### きょうどやまぐち

山口県小学校社会科教育研究会

### 山口県につたわるこどもの遊び

山口県小学校教育研究会体育部・山口県小学校体育連盟

### 山口・人物ものがたり

山口・人物ものがたり研究会

### 山口の先人たち

「山口の先人たち」編集委員会

### 郷土の誇り～岩国偉人伝

岩国中央ロータリークラブ

### やまぐち歴史・文化・自然検定公式テキスト やまぐち本

山口商工会議所やまぐち歴史・文化・自然検定実行委員会（平成21年3月）

### 阿東町指定文化財

阿東町教育委員会（平成9年3月）

### ふるさと下関1～5【自然、文化財・諸施設、産業、教育と文化、人物と国際交流】

下関市教育委員会（平成8年4月～平成12年4月）

### 長門市文化財マップ

長門市教育委員会（平成19年3月）

### 若き志士

山口県萩市

※各市町のホームページからも資料を探すことができます。

### (3) 県内の関連施設

#### 山口県立山口図書館

〒753-0083 山口市後河原150-1 5 083-924-2111

#### ◇ふるさと山口文学ギャラリー

平成20年4月、県立図書館内に設置された。

金子みすゞや中原中也、種田山頭火など「やまぐちの文学者」についての資料展示のほか、講演会や出前講座、郷土文学図書の貸出などを行っている。

URL <http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/>

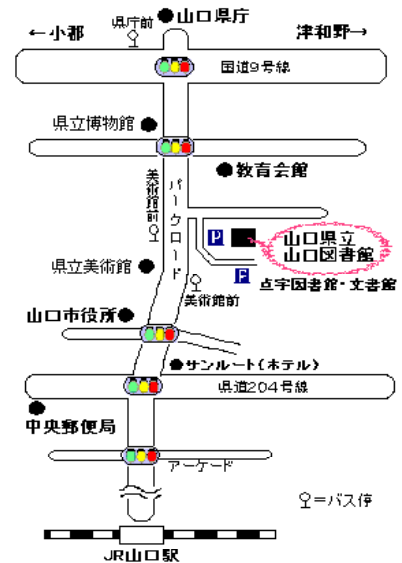
開館時間 火曜日～金曜日 9:00～19:00

土・日曜日・祝日 9:00～17:00

休館日 毎週月曜日

月末休館日（月末が土・日曜日と重なった場合、直前の金曜日）

年未年始 春・秋季資料点検期間



#### 山口県立山口博物館

〒753-0073 山口市春日町8-2 5 083-922-0294

#### 山口県立美術館

〒753-0089 山口市亀山町3-1 5 083-925-7788

#### 山口県立萩美術館・浦上記念館

〒758-0074 萩市平安古586-1 5 0838-24-2400

#### 山口県埋蔵文化財センター

〒753-0073 山口市春日町3-22 5 083-923-1060

#### 岩国市科学センター

〒740-0018 岩国市麻里布町6-14-25 5 0827-22-0122

#### 月性展示館

〒749-0102 柳井市大島 5 0820-45-2226（柳井市教育委員会大島出張所）

#### しらかべ学遊館

〒742-0022 柳井市柳井津495 5 0820-22-4518

#### 星野哲郎記念館

〒742-2512 大島郡周防大島町大字平野417-11 5 0820-78-0365

#### 周防大島文化交流センター

〒742-2512 大島郡周防大島町大字平野417-11 5 0820-78-2514

**伊藤公資料館**

〒743-0105 光市大字東荷2250-1 5 0820-48-1623

**回天記念館**

〒745-0057 周南市大字大津島字馬島 5 0834-85-2310

**周南市鶴いこいの里交流センター**

〒745-0501 周南市大字八代826-8 5 0833-92-0003

**毛利博物館**

〒747-0023 防府市多々良1-15-1 5 0835-22-0001

**防府市青少年科学館（ソラール）**

〒747-0809 防府市寿町6-41 5 0835-26-5050

**中原中也記念館**

〒753-0056 山口市湯田温泉1-11-21 5 083-932-6430

**山口ふるさと伝承総合センター**

〒753-0034 山口市下堅小路12 5 083-928-3333

**山口市菜香亭**

〒753-0091 山口市天花1-2-7 5 083-934-3312

**山口市小郡文化資料館**

〒754-0001 山口市小郡上郷 5 083-973-7071

其中庵（ごちゅうあん：小郡町矢足）

**宇部市立図書館附設資料館**

〒755-0047 宇部市島1-4-55 5 0836-21-4510

**秋吉台科学博物館**

〒754-0511 美祿市秋芳町秋吉字台山 5 0837-62-0640

**秋吉台エコ・ミュージアム**

〒754-0302 美祿市美東町赤2368-1 5 08396-2-2622

**美祿市歴史民俗資料館**

〒759-2292 美祿市大嶺町東分字前川278-1 5 0837-53-0189

美祿市化石採集場（美祿市大嶺町奥分桃ノ木）

**美祿市化石館（フォッシルパーク）**

〒759-2212 美祿市大嶺町東分字前川315-12 5 0837-52-5474

**下関市立長府博物館**

〒752-0979 下関市長府川端町1-2-5 5 083-245-0555

**下関市立考古博物館**

〒751-0866 下関市大字綾羅木字岡454番地 5 083-254-3061

**豊田ホテルの里ミュージアム**

〒750-0441 下関市豊田町中村50-3 5 083-767-0350

**下関市立近代先人顕彰館（田中絹代ぶんか館）**

〒750-0008 下関市田中町5番7号 5 083-250-7666

**萩博物館**

〒758-0057 萩市堀内355 5 0838-25-6447

**松下村塾**

〒758-0011 萩市椿東松本1537 5 0838-22-4643

**松陰記念館**

〒758-0061 萩市大字椿1258 5 0838-22-9889

**金子みすゞ記念館**

〒759-4106 長門市仙崎西祇園1308 5 0837-26-5155  
みすゞ館（JR仙崎駅構内）

**香月泰男美術館**

〒759-3802 長門市三隅中226 TEL:0837-43-2500

**村田清風記念館**

〒759-3803 長門市三隅下2510-1 5 0837-43-2818

#### (4) 関係法令 (抜粋)

##### 教育基本法 (平成18年12月22日)

###### 前文

我々日本国民は、たゆまぬ努力によって築いてきた民主的で文化的な国家を更に発展させるとともに、世界の平和と人類の福祉の向上に貢献することを願うものである。

我々は、この理想を実現するため、個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求し、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成を期するとともに、**伝統を継承し、新しい文化の創造を目指す教育を推進する。**

###### (教育の目的) 第一条

教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

###### (教育の目標) 第二条 五

伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

##### 学校教育法 (平成19年6月27日)

###### (義務教育の目標) 第二十一条 三

三 我が国と郷土の現状と歴史について、正しい理解に導き、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うとともに、進んで外国の文化の理解を通じて、他国を尊重し、国際社会に平和と発展に寄与する態度を養うこと。

##### 中央教育審議会答申 (平成20年1月17日)

###### (3) 伝統や文化に関する教育の充実

国際社会で活躍する日本人の育成を図る上で、我が国や郷土の伝統や文化を受け止め、そのよさを継承・発展させるための教育を充実することが必要である。世界に貢献するものとして自らの国や郷土の伝統や文化についての理解を深め、尊重する態度を身に付けてこそ、グローバル化社会の中で、自分とは異なる文化や歴史に敬意を払い、これらに立脚する人々と共存することができる。

また、伝統や文化についての深い理解は、他者や社会との関係だけではなく、自己と対話しながら自分を深めていく上でも極めて重要である。

###### (教育内容に関する主な改善事項「伝統や文化に関する教育の充実」)

国際社会で活躍する日本人の育成を図るため、我が国や郷土の伝統や文化を受け止め、それを継承・発展させるための教育を充実する必要がある。

国語科での古典の重視、社会科での歴史学習の充実、音楽科での唱歌・和楽器、技術・家庭科での伝統的な生活文化、美術科での我が国の美術文化や保健体育科での武道の指導の充実を図る。

##### 学習指導要領 (総則)

・・・ 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図るとともに、公共の精神を尊び、民主的な社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある日本人を育成する・・・